

大雨及び強風による農作物等の技術対策について

令和4年3月18日

農林水産部担い手支援課

千葉県では、前線を伴った低気圧の影響で、18日昼過ぎから雨が次第に強まり、19日にかけて大雨となる所がある見込みです。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。大雨や突風による被害等のおそれがありますので、今後の気象情報に注意し、下記の対策指導を徹底して下さい。

1 共通

- (1) 対策作業は、強風が吹く前に、または収まってから行う。強風時には周辺の物が飛来するおそれがあるので作業をひかえる。
- (2) 潮風の当たった地域では、可能な限り速やかに大量の散水を行い、茎葉に付着した塩分を洗い流す。
- (3) 排水の悪いほ場では、あらかじめ排水溝などの整備をして、冠水や滞水を防ぐ。
- (4) 湛水時間が長いほど被害が大きくなるため、事後、速やかにほ場の排水を図る。

2 施設等

<事前対策>

- (1) 施設周辺を確認し、資材等の飛散しやすいものを片付けるとともに、シートで覆い、ロープなどで固定し、施設の破損を防止する。
- (2) ビニールハウスは、外周を見回り、抑えのバンドでフィルムをしっかりとめ、サイド、出入口は閉めて固定する。できれば風当たりが強い外側の棟などを補強する。また、被覆資材に損傷箇所があれば、直ちに補修する。
- (2) ガラスハウスは、天窓を手動で閉め、側窓、出入口をすべてロックするなどして確実に閉める。
- (4) ハウス周囲の側溝排水溝を十分に確認し、ゴミを取り除くなど整備し、雨水の流入、侵入を防ぐ。
- (5) 落雷等により停電が発生する恐れがあるため、電源や設備の状態に注意する。

<事後対策>

- (1) 施設が破損した場合には、安全を確保しつつ速やかに補修を行う。
- (2) 施設内外にたまった雨水は、ポンプ等を活用し、速やかに排水する。

3 露地野菜

<事前対策>

- (1) 茎葉の被害により大きな減収や品質低下が予想される野菜では、防風ネットの展張や、軽く土寄せするなど倒伏防止を図る。
- (2) トンネルでは、抑えのバンドをしっかりとしめなおすとともに、土寄せをしてフィルムが飛ばされないようにする。

<事後対策>

- (1) 葉や茎のこすれ等により、病害が発生するおそれがあるので、汚れた茎葉の洗浄と損傷した茎葉の除去をし、防除指針に従い殺菌剤を散布し病気の予防に努める。なお、根の活性が低下するなど、薬害が発生しやすい状態にあるので注意する。
- (2) 風の影響で、株元がぐらついたものは、生育の阻害を防ぐため、あまり根を切らない程度の中耕を行い、株元に土寄せして固定する。
- (3) 根の活性が低下して、肥料の吸収が悪くなるため、液肥の葉面散布を行う。
- (4) 潮風などで茎葉が枯死した野菜のうち、収穫期に達している野菜は、多少未熟でも商品価値の落ちる前に収穫する。

4 果樹（全般）

<事後対策>

- (1) 枝に損傷を受けた場合は、胴枯れ病の発生要因となるので、切り戻しを行い、切断面に保護剤を塗布する。
- (2) 樹が倒伏したものは、無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せして支柱を立てる。
- (3) 散布する殺菌剤は「農作物病害虫雑草防除指針」の防除法を参照。

5 露地花き

<事前対策>

- (1) 支柱の打ち増しやフラワーネットの点検・補強を行う。
- (2) 茎葉の被害により大きな減収や品質低下が予想される花きでは、防風ネットを張る。

<事後対策>

- (1) 風により折れた枝や株は整理し、倒伏した切り花類は枝の曲がらないうちに無理のない範囲で早く立て直し土寄せする。